

# 明星

亀山市立白川小学校だより

第22号

平成30年10月5日（文責 川合）

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

## つくしの家 全校交流会（9月27日）

本年度は、地域の方やつくしの家の方等交流活動で、コミュニケーションをとることにめあてを  
おいて、取り組んでいます。

つくしの家の方との交流は、話すこととゲームをして拍手して笑ったり、喜びを分かち合ったり  
して心が通じ合うことを大切にしています。

学校からは、カレーゲームを、つくしの家からは空き缶ボーリングを計画して楽しみました。

はじめはきんちょうしていましたが、うちとけて、とっても素晴らしい笑顔いっぱい  
の時間となりました。11月のふれあい集会に白川小学校に来ていただくのをみんなが楽しみに  
しています。

1年生の絵日記を見せてもらいました。初めての交流で次のように感じてくれたことに胸が  
あつくなりました。

・つくしのいえで カレーゲームをしました。いっぱいとれたので、うれしいです。みんな  
でちからをあわせられたから、うれしかったです。

・つくしのいえに きました。あきかんボーリングが たのしかったです。つくしのいえの  
ひとじょうずでした。

・ぜんこうでつくしのいえに きました。カレーゲームをしたらとってもたのしかったです。  
カレーゲームをいっしょにしていたら、うれしいきもちになりました。

・つくしのいえに きました。はじめは、さいているつくしだとおもいました。つくしの  
いえのひとあそんだら、たのしくなりました。

・カレーゲームのとき、つくしのいえのひとのぼんでした。わたしは「がんばれ。」  
といいました。えがおでした。カレーゲームのとき、わたしががんばろうとおも  
いました。

・はじめは、はなすのがはずかしかったけど、カレーゲームをすると、おはなしを  
することがいっぱい、なかよくなれました。つくしのいえのひととなかよくなれた  
ので、うれしかったです。

（絵日記より）



## 読書の秋

校長室に私が読もうと2冊の本が置いてありました。一冊は『スズメバチの真実』。もう一冊は、『みえるとか見えないとか』。前者は、だれも手に取りませんが、後者は、校長室に来た職員が見つめて、「貸してください」「今話題の人が書いた本かな？」とみんなが読んでいます。というのは、ちがいを認め、分かり合うよさを教えてくれるからです。

右の絵は、その一部ですが、地球の子どもが宇宙を旅して、後ろがみえる目を持った宇宙人に出会います。宇宙人にとって、後ろがみえない地球人を不便だねと気を使ってくれます。他にも足の長い宇宙人や体のやわらかい宇宙人等出会いを通して、考えが変わっていきます。

これは、笑い話ですが、もう一冊『wonder』という本を読もうと通販で頼んだら、開けてみると英語版でした。子どもがどういう反応をしめすかなと校長室前に置いておいたら、誰かが、日本語版を置いておいてくれました。

## 後期のスタートです。

10月2日(火)朝、任命式を行いました。

後期児童会役員・委員長・2学期の学級委員を任命しました。

前期に続いて、後期のみなさんもめあてをもってがんばってほしいです。



## 遠足に行ってきました

台風24号がすぎて、10月1日(月)秋晴れの中、遠足に行きました。

1～3年は誓信寺さんにより、住職さんのお話を聞き、貝下地区を探検してサンシャインパークへ。4～6年は亀山公園へ行きました。集団遊びをしたり遊具で遊んだりして楽しかったです。

